

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 234 条の規定により、次のとおり一般競争入札を実施する。

令和 2 年 3 月 1 1 日

京都府流域下水道事務所長 永濱 直行

1 入札に付する事項

- (1) 委託業務の名称及び数量
令和 2 年度資材単価調査業務 一式
- (2) 業務の仕様
入札説明書及び仕様書のとおり
- (3) 業務期間
契約日から令和 3 年 3 月 2 5 日まで

2 契約条項を示す場所等

- (1) 契約条項を示す場所、入札説明書、仕様書及び一般競争入札参加資格審査申請書（以下「入札説明書等」という。）の交付場所並びに契約に関する事務を担当する組織の名称、所在地等
〒617-0836 長岡京市勝竜寺樋ノ口 1
京都府流域下水道事務所総務室
電話番号 (075)954-1877
ファクシミリ番号 (075)955-2224
- (2) 入札説明書等の交付期間
令和 2 年 3 月 1 1 日(水)から令和 2 年 3 月 1 9 日(木)まで
- (3) 入札説明書等の入手方法
原則として、(2)の期間に、京都府流域下水道事務所のホームページからダウンロードすること。やむを得ず直接交付を希望する場合は、(2)の期間の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（正午から午後 1 時までの間を除く。）に、(1)の場所に問い合わせの上、入手すること。

3 入札に参加する者に必要な資格

入札に参加を希望する者は、次に掲げる条件を全て満たさなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (2) 次のアからオまでのいずれにも該当しない者で、その事実の有無について資格審査を受け、その資格を認定されたものであること。
 - ア 府税、消費税又は地方消費税を滞納している者
 - イ 審査基準日（令和 2 年 3 月 1 日をいう。）において、直前 2 営業年度以上の営業実績（営業経歴及び取引実績）を有しない者
 - ウ 一般競争入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という。）又は添付書類に、故意に虚偽の事実を記載した者
 - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号。以下「法」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）のほか、次のいずれかに該当する者

- (ア) 法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）
 - (イ) 法人の役員若しくはその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外のものが暴力団員である者又は暴力団員がその経営に関与している者
 - (ウ) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団の利用等をしている者
 - (エ) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等、直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
 - (オ) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - (カ) 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用している者
 - (キ) 暴力団及びアからカまでに定める者の依頼を受けて入札に参加しようとする者
- オ 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体又は公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体に属する者
- (3) 申請書の提出期間の最終日から入札日までの期間において、京都府の指名競争入札について指名停止とされていない者であること。
 - (4) 国、地方自治体、地方公社、地方独立行政法人又は公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）第2条第1項に規定する政令で定める法人（以下「国、地方公共団体等」という。）が発注する業務委託等で、平成28年4月1日以降に、契約1件につき総計100件以上の土木資材単価調査等の履行完了実績を有している者であること。

4 入札参加資格の確認手続

入札に参加を希望する者は、確認申請書及び一般競争入札参加資格確認資料（以下「申請書等」という。）を次のとおり提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

なお、提出した書類に関し、契約担当者から説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

- (1) 提出期間
令和2年3月18日(水)及び令和2年3月19日(木)
- (2) 提出場所
2の(1)に同じ。
- (3) 提出方法
提出期間中の午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時までの間に持参して提出すること。
- (4) 添付資料
申請書には、次に掲げる資料を添付しなければならない。
 - ア 法人にあっては商業登記法（昭和38年法律第125号）第10条第1項に規定する登記事項証明書及び定款、個人にあってはその者が制限行為能力者（未成年者、成年被後見人、被保佐人及び民法（明治29年法律第89号）第17条第1項の審判を受けた被補助人）でないことの証明書及び破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者でないことの証明書
 - イ 府税納税証明書
 - ウ 消費税及び地方消費税の納税証明書
 - エ 誓約書
 - オ 営業経歴書及び営業実績調書

カ 同種業務実績調書

キ 取引使用印鑑届

ク 権限を営業所長等に委任する場合には、委任状

(5) 申請書等を提出した者に対し、資格審査の公正を図るため、申請書等の記載事項を証明する資料等の提出を求めることがある。

(6) 入札参加資格の確認通知

入札参加資格を確認した後、一般競争入札参加資格確認通知書により通知する。

(7) その他

申請書等の作成等に要する経費は、提出者の負担とし、提出された書類は返却しない。

5 質問の受付・回答

質問については、次のとおり受け付ける。

(1) 質疑書

配布資料（申請書等、入札説明書をいう。以下同じ。）に関する質問については、令和2年3月16日（月）午後4時までに、設計図書に関する質問については、令和2年3月25日（水）午後4時までにファクシミリで契約条項を示す場所へ提出すること。

（郵送、電子メール又は持参によるものは受け付けない。）

(2) 回答

次に掲げる期間までに京都府流域下水道事務所のホームページに掲載する。

配布資料に関する質問 令和2年3月17日（火）

設計図書に関する質問 令和2年3月26日（木）

6 入札手続等

(1) 入札及び開札の日時、場所等

ア 日時

令和2年3月27日（金） 午前10時

イ 場所

長岡京市勝竜寺樋ノ口1

京都府流域下水道事務所2階小会議室

(2) 入札の方法

持参によることとし、郵送又は電送による入札は認めない。

(3) 入札書に記載する金額

落札の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(4) 入札者は、いったん入札書を提出した後は、開札の前後を問わず、書換え、引換え、変更、取消し又は撤回をすることができない。

(5) 入札者が連合し、又は不穏な行動をする等の場合において、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるときは、この入札を延期し、又はこれを取りやめることができる。

(6) 入札者は、入札説明書及び業務仕様書、契約書案、その他の添付書類（以下「仕様書等」という。）を熟知の上、入札しなければならない。なお、入札後、仕様書等につ

いての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(7) 入札の辞退

入札に参加することができない事情がある場合には、入札書を提出するまでは入札を辞退することができる。この場合、入札を辞退する旨を記載した入札辞退届を2の(1)へ提出することとする。

なお、正当な理由なく入札を辞退した場合は、指名停止措置を行うことがある。

(8) 入札の無効

次のいずれかに該当する入札は、無効とする。なお、無効な入札をした者は、再度の入札に加わることはできない。

ア 3に掲げる資格のない者の行った入札

イ 申請書等を提出しなかった者又は申請書等に虚偽の記載をした者の行った入札

ウ 同じ入札に2以上の入札（他人の代理人としての入札を含む。）をした者の行った入札

エ 入札に関し、不正の利益を得るための連合その他の不正行為をした者又はその疑いのある者のした入札

オ 入札参加資格の確認後、指名停止措置を受けて開札時点において指名停止期間中である者等、開札時点において入札に参加する資格のない者のした入札

カ 金額を訂正した入札書又は金額を特定することができない入札書で入札をした者のした入札

キ 氏名、印鑑又は重要な文字が誤脱又は不明瞭のため、入札参加者又は対象案件を特定することができない入札書（封筒を含む。）で入札をした者のした入札

(9) 落札者の決定方法

ア 京都府公営企業会計規程(昭和47年京都府公営企業管理規程第9号)第112条の規定により例によることとされる京都府会計規則（昭和52年京都府規則第6号。以下「規則」という。）第145条の予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、最も低い者が2人以上あるときは、くじにより落札者を決定するものとする。

イ 落札者が決定通知のあった日から7日以内に契約を締結しないときは、落札者は当該契約の相手方となる資格を失うものとする。

(10) 再度入札

ア 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の入札がなく、落札者がいない場合は、再度入札を行うものとする。なお、当初入札において辞退又は無効となった者は、再度入札に参加することができない。

イ 再度入札参加者は、(2)から(7)までの方法により再度入札を行うものとする。

ウ 再度入札において、当初入札時の最低の入札価格を超える価格で入札した者は、失格とする。

7 契約の手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

8 契約書作成の要否

要する。

9 入札保証金

免除する。

10 違約金

落札者が契約を締結しない場合は、落札金額の100分の5相当額の違約金を落札者から徴収する。

11 契約保証金

落札者は、契約金額の100分の10以上の額の契約保証金を、契約締結と同時に納付しなければならない。ただし、銀行その他契約担当者が確実と認める金融機関（以下「銀行等」という。）が振り出し、若しくは支払保証をした小切手又は銀行等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができ、規則第159条第2項第1号又は第3号に該当する場合は、免除する。

12 契約の解除予約及び損害賠償請求

京都府は、談合等不正行為が行われた場合、契約者に対し契約解除及び損害賠償の請求をすることができる。

13 入札の執行

この入札に係る令和2年度予算が京都府議会において議決されない場合は、この入札は、執行しないものとする。ただし、この入札における行為等については、指名停止等の措置の対象とする。

14 支払条件

契約の履行の完了を確認した後、契約代金を支払うものとする。

15 その他

- (1) 前各項に定めるもののほか、規則の定めるところによる。
- (2) 詳細は、入札説明書による。